



第499回つくば分子生命科学セミナー

TSUKUBA MOLECULAR LIFE SCIENCE SEMINAR

演題：実験動物の自動ホームケージ内モニタリング技術(AHCM)

演者：遠藤 俊裕 先生
フェノバンス合同会社

日時：2026年3月4日（水） 16:00-17:30

会場：臨床講義室D

要旨：高精度かつ高効率なゲノム編集技術が急速に発展する一方で、作出されたモデル動物に対する表現型解析においても、信頼性、データ生産性、動物福祉の観点から早急な技術革新が求められています。近年、飼育環境下にある実験動物（げっ歯類、靈長類、魚類、両生類など）を対象として、各種センサやアクチュエータ、AI技術を活用し、個体識別、画像・音声データの収集、基礎的および認知的行動の記録・分類などを24時間自動的に行う Automated Home-Cage Monitoring (AHCM) が注目を集めています。本セミナーでは、AHCM 技術が誕生した背景から、その基本的な要素技術、代表的なシステム例、導入・構築に際しての留意点、ならびにデータハンドリングに関わる関連技術について解説いたします。さらに、最新のAHCM開発事例として、私たちが取り組んできた「eeeHiveシリーズ」の開発内容と、それを活用した研究事例についても併せてご紹介いたします。

本セミナーは、医学学位プログラム（博士）「医学セミナー」（担当：専攻各教員）、及び、フロントティア医科学学位プログラム（修士）「医科学セミナーII」（担当：入江賢児）の関連セミナーに相当します。

連絡先： 筑波大学医学医療系 水野 聖哉（内線3393、konezumi@md.tsukuba.ac.jp）

【筑波分子医学協会（TSMM）主催】 HP : <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tsmm/>

協会代表：筑波大学医学医療系 久武幸司 TSMM セミナー担当：筑波大学医学医療系 蕨栄治